

連歌奉納

大神の 御稜威畏み 氏子等は
産土の 神のみ幸の 御供して
豊国の 稔りゆたけき 秋の日に
豊作を 宇原の神に 感謝して
この夏の 酷暑干ばつ 乗り越へて
障りなく 喜寿を迎えて 神幸祭
浮殿へ 純風の神苑 神迎え
豊作を 祝ふ声を 聞き乍ら
鉦太鼓 とどろき鳴れば 若人等
涼風に 法被なびかせ 胸おどり
豊国の 宇原の里は ゆたかなれ
かけ声も いと朗らかに 若人は
青空に 響きわたる 鉦太鼓
カンカンカン 鉦のリズムに 背を押され
町人ら 力を合わせ 声高く

宮司……………廣瀬正知
禰宜……………廣瀬理子
氏子会会長……………三原 茂
氏子会副会長……………坂本茂三
氏子会副会長……………守 一夫
氏子会副会長……………守中康治
氏子会理事……………坂岡正喜
氏子会理事……………田淵 朗
氏子会理事……………官見敦司
氏子会監事……………進谷忠俊
氏子会監事……………山口由信
氏子会監事……………佐藤信一
氏子総代……………守中清史
氏子青年会会長……………田畑豊勝
氏子青年会副会長……………宮原広行

秋晴れに 大地を駆ける 男たち
ながばたけ 志一つに ワンチーム
初めての 法被まといし 幼子ら
鐘の音と 夕陽に映える 灯山見て
往にし方の 杜の賑い 今日此処に
淡萌黄 黄金美りし 田面観て
鉦太鼓 リズムは弾み 天高し
健やかに 移りゆく世を 生きている
恩寵で この身このまま 足るを知り
また君の 法被姿に 沿る秋
待ちかねた ハッピーの紐を 締め直し
秋晴れに 祭り喜ぶ 子供たち
一筋の 飛行機雲に 導かれ
秋風に 豊作祝う 声高く
鉦の音 灯山のあかり 秋めく日
産土の 風吹きそよぐ 爽やかに

馬場区同志会顧問……………平井雅崇
長畑区山笠保存会会長……………嶋村政敏
馬場……………守中泰子
尾倉……………小田原忠英
尾倉……………沖永陽子
神田町一……………柳原良行
神田町三……………中村幸彦
尾倉……………上田安乃
南原……………坂本悦子
馬場……………井上沙綾香
神田町一……………木村 修
馬場……………守中紀子
馬場……………守中亮太
下関市……………常岡喜美子
尾倉……………伊舎堂真由美
提……………種生純子

9月25日に連歌奉納祭が宇原神社で開催されました。お題の下の句に対して、次のとおり上の句が寄せられました。
▼下の句「心楽しく 山笠を曳く」



「小さい頃から山笠は身近な存在でした」
美雛さんと千夏さんは語ってくれました。
毎年楽しみにしている祭りに、
今年は旗持ちとして参加。
髪型や装いにもこだわり、
祭りを彩りました。
「山笠が大好きです」
と目を輝かせる姿に、
地域の伝統への愛着が
伝わってきました。



勇壮華麗 苅田山笠

福岡県の無形民俗文化財に指定されている「苅田山笠」は、苅田町で毎年9・10月に開催される伝統的な祭りです。今年は、山車10基が役場駐車場に集合しました。



室町時代から続く「苅田山笠」が、9月21日から10月5日にかけて開催されました。宇原神社の秋の例大祭として知られるこの祭り。今年も町全体が活気で包まれました。

祭りは9月21日の「鉦卸し」から始まり、約2週間にわたって様々な行事が行われました。
9月27日と28日の夜に行われた「灯山」では、約220個のちょうちんで彩られた山車が、鉦と太鼓の音色とともに町を巡行し、幻想的な光景を創り出しました。

祭りのクライマックスである10月5日の「大祭」では、各区から10基の「岩山」が役場駐車場に勢揃い。高さ約15メートルに及ぶ壮大な山車には、合戦記や物語をテーマにした巨大な岩や人形、五色の紙すだれ、そして「ホテ花（ホテ花）」と呼ばれる装飾などが施されて、山笠の胴体を彩る色とりどりの幔幕と相まって、その豪華かつ華麗な姿は圧巻でした。

大祭の後半には、待ちに待った「突き当て」が行われました。各区の振興会が中心となり、太鼓や鉦の音、掛け声が響き渡る中、重さ4トンを超える山車同士をぶつけ合う様子は、観客の興奮を誘いました。

会場を訪れた町民の一人は「今年も素晴らしい祭りでした。灯山の幻想的な美しさから、大祭での山笠の豪快さまで、苅田の伝統の奥深さを感じました」と感動を語りました。

灯山から熾山、岩山へと姿を変える山笠は、町の人々の心に深く根付いた大切な文化遺産です。この伝統を守り継ぐため、各区の振興会が町内の小学校で苅田山笠の文化を子どもたちへ伝える伝承授業を実施しています。この内容は25ページで紹介しています。

苅田山笠は、町の歴史と人々の心を彩る生きた芸術。若い瞳に映る伝統の輝きが、未来への架け橋となるでしょう。